三条別院のご案内

三条別院に想う

【特別編⑮長岡は今】

前号では新潟市の中心部についての記事でしたので、今回は長岡市願性寺の井上知法氏にお聞きしました。

「長岡は今」というお題を頂いたので、長岡市のコロナウィルス感染状況を調べてみる。

二〇二一年六月十四日現在。去年三月からの十五ヵ月間で人口約二十六万人の長岡市に於ける感染例は三四五例、またここ数日感染例はなし、また本日市独自の「緊急警戒情報」が解除され、臨時休館している公共施設を再開するとの事。

……この数字や政策の捉え方には各々差異があるでしょうが、少なくともこの十五ヵ月間、私の周囲に感染により身体的なダメージを負う者はいませんでした。また生活に変化があったかどうかと言えば当然人並みに影響はあるのですが、今流行しているウィルスが「子どもに身体的なダメージを与える可能性が著しく低い」という現状は、幼少期の子をもつ親からすれば、“有り難い”ほどセーフティなウィルスだという認識で、その認識を支えに毎日子どもを外に送りだす平常の生活が保たれています。が、この「子どもは大丈夫」という認識が崩れたらと、他のウィルスならそんなことも“有り得る”と想像するとゾッとします。しかし平常の生活が保てない方々がゾッとするような毎日を過していることも承知してはいます。

当初からですが、このウィルスに対する認識の違いが人々の行動を左右し、分断を生んでいます。身体の心配だけではすまない、人間関係にも影響を及ぼすというのは、今更言わずもがなですが、コロナウィルス収束の暁まで続くかと思うと辟易します。

私がコロナ禍をどう過すことが正解なのかなど知る術もなく、ただ実感の伴わない様々な情報にオロオロして、周りの感情や行動に擬態しているだけで、そのような人間もどうかとは思いますが、過し方が定まった方々も生き辛そうです。

ウィルスの蔓延により、「死」を身近なものに感じるようになった者にとってコロナ禍は悲劇でしょうが、「風邪の流行」程度と捉える者にはコロナ禍の混乱は喜劇として映るでしょう。様々な自粛・行動制限、感染対策も悲劇の世界では至極真っ当な行為だとしても、喜劇の世界でのそれらは大衆の愚かさを露呈する行為にしか映らないのかもしれません。

私自身、このコロナ禍で「万が一、〇〇」とか「〇〇かもしれない」といった“可能性”という印籠にはグーの音も出せず、また「感染症？知らねえよ、俺聖人君子じゃねえし、俺は俺だ」と言われれば、絶句して過してきました。

確かに選択肢が個人個人に委ねられている限り、「自由に行動する権利」も「安心して生活する権利」もある訳で、ナイーブな事をいえば「やった者勝ち」でもなく「嫌がった者勝ち」でもない共生はできないものかと思います。

互いの見えている世界に理解できないほどの隔たりがある。が、それでも出会ったらどのようなかたちで共生できるのか、共感も同意もできない他者だと気付いたら、それでも私たちはつながれるのか。

新型コロナウィルスの感染拡大が明確にした、収束することのない課題です。

昔、出会ったことば「私たちは徹頭徹尾自我を生き、同時に徹頭徹尾他者と共に在る。」

逃れようのない事実を表したこのことばに改めてうなずき、その困難を実感する今を過しています。

全然「長岡の今」でないですね、すいません。どうか皆さまご自愛のほど。

真宗大谷派三条別院
TEL：0256-33-0007
E-mail：sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

井上知法 氏
（第十三組願性寺）

○次回の「三条別院に想う」は、
佐渡組御寺院住職より
ご執筆いただきます

【次回は特別編⑯佐渡は今】
人口五万人の佐渡はかつては銀山・金山で栄え、繁華街が点在していて、当然、新型ウイルスの影響を免れ得ません。次回は、佐渡の現状についてお聞きします。

三条別院公開講座報告

二〇二一年は越後の念仏者曽我量深師〔一八七五（明治八）年～一九七一（昭和四十六）年〕の没後五十年で、祥月命日にあたる六月二十日に、新潟親鸞学会にご協力をいただき、長谷正當先生（京都大学名誉教授）をお招きし、公開講座を開催することができました。講題は「正定聚に住するということ―曽我量深先生の『分水嶺の本願』に学ぶ―」。近年、往生をめぐって、「親鸞は現生往生を主張したのか死後往生を主張したのか？」という問題提起があったことは、実はたびたび起こってきた論争であり、親鸞の往生を「現生か死後か」という狭い範疇で理解しようとすることが間違いであり、それは、『教行信証』「証巻」の「必至滅度の願」が読めていないことによると説明されました。往生は「点」ではなく「道」であると理解すべきだ、と。

【長谷正當氏】

そしてそれを曽我師は、昭和二十七年六月に、清沢満之の五十回法要を終えたのち、北海道の根室別院で海上はるかに見える北方領土を見ながら法話中に忽然として「分水嶺の本願」ということを感得して、「正定聚に住する」とはこういうことだという確信を獲られたということです。「正定聚に住する」ということは、「浄土と娑婆の接点である分水嶺に立つこと」であり、「浄土に触れて娑婆世界にとどまること」、「地上に住み場所をもつこと」、「詩的に生きること」、「根をもつこと」、それは現状肯定ではなく、現状に立ち懸命に生きることであると話されました。質疑応答の時間もあり、新型ウイルスの影響で例年の公開講座と異なりやや学問的な内容でしたが、世界中の人々が苦しんでいる中、仏教の教え、親鸞聖人の思想が、どのような意味をもっているのか改めて考える時間になりました。

書道教室に準同人誕生

書道協会「太空会」の昇段級試験にて、三条別院書道教室「東友会」の米山裕子氏が四段（準同人）に昇段されました。また、小林智光氏、福田智之氏も初段となりましたのでここに報告させていただきます！

米山さんと小林さんは2012年の会の立上げ当初からご参加いただき、毎月通って研鑽を積まれています！

フードバンクを継続中

会所になっていただける御寺院を募集しております。詳しくはHPかチラシを御覧ください。

◇六月の別院でのフードドライブにご協力いただいた御寺院・御門徒

第十九行順寺、第二十三組福明寺、佐渡組門徒

その他匿名含め多くの方々にご協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は七月二十六日(月)です。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。

どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。

なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日　時　七月二十八日（水）午前十時より
◆会　場　三条別院 本堂
◆お勤め（御命日　日中法要）
　文類偈　行四句目下
　念仏讃　淘五
　和　讃　回口　次第六首
　回　向　願以此功徳

◎今月の法話講師

佐々木憲雄氏（第十五組光善寺）
御文五帖目　一通「末代無智」

◆今後の講師一覧　～御文五帖目～

八月　濱松智弘氏（佐渡組勝廣寺）十二通（御袖すがり）
九月　大久保州氏（佐渡組廣永寺）六通（一念に弥陀）
十月　佐々木祐玄氏（第十五組光善寺）二通（八萬の法蔵）
十一月　村手淳史氏（第二十組光圓寺）第十一通（御正忌）
十二月　北島栄誠氏（第十一組長福寺）第十通（聖人一流）

▲『御文』五帖目について、各講師からご法話いただきます。

定例法話会のご案内

毎月十三日の蘭如上人のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。五月から再開した仏教入門講座「釈尊伝」が、七月で最終回です。古代インドに王子として生まれた釈尊は、何に悩み、何を考え、何を悟ったのか？ＹｏｕＴｕｂｅの三条別院チャンネルにアップしておりますので、ぜひご覧ください。

◆日　時　毎月十三日　※八月、一月は除く
午後一時三十分より（一時間程度）
◆場　所　三条別院　旧御堂
五月～七月（全三回）
◆講師　富沢慶栄氏（第二十一組超願寺）
◆講題　「釈尊伝―仏教入門講座―」

その他の講座等案内

○別院声明教室（全五回・途中参加可能）

八月から再開いたします。

○別院書道教室（参加者継続募集中！）

〔月二回第二、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕
講師　木原光威氏（新潟県書道協会理事）
月謝　三二〇〇円（テキスト代含む）

○三条別院有志の会庭講・花講

○別院奉仕研修・三条別院巡回（要相談）

◆◆編集後記◆◆

早いもので二〇二一年も半分過ぎ、なんだかあっという間に折り返し地点に来てしまった。昔とくらべて、時間が経つのが早くなったなぁと感じる。

いつだったか、某テレビ番組で五歳児が「大人になるとあっという間に一年が過ぎるのはなぜ？」という問いを大人の出演者にぶつけていた。その大人は、「私たちはもう、たくさん生きてるから飽きちゃったんだ」と答える。（当然ながら、この大人は五歳児に叱られる）ではなぜ、大人になるとあっという間に一年が過ぎるのかというと、その五歳児曰く「人生にトキメキがなくなったから」なのだそうだ。例えば食事をするにしても、子ども達は「今日のごはんは何かな？」「どんな味かな？」など、様々な感情が生まれてくるらしいのだが、大人はただ食事をするという「作業」になっているとのこと。感情が多ければ多いほど、時間が長く感じるのだそうだ。

食事だけではなく、私たちは大人になるにつれて、だんだんと生きること自体「作業」になっていないだろうか。「作業」では全然トキメかない。そして、子ども達に「しゃべってないで早く食べなさい」「食べたら歯磨きして早く寝なさい」と作業的な生き方を押し付けていないだろうか。トキメキがなくなった私たちにできること、しなければならないことは子ども達が感じたことの「声」に耳を傾けることなのかもしれない。

ということで、今日は定時で上がって娘たちとおしゃべりしながらご飯を食べよう。（小原）

三条教区通信

第１６６号

発行日　2021 年 7 月 1 日
発行者　三条教務所長 海岸秀道
発行所　真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町 2 丁目 1-57
Tel (Fax): 0256-33-2805 (2847)
Email: sanjo@higashihonganji.or.jp
Website: https://sanjobetsuin.or.jp/

今 月 の 法 語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

人間は我を知らず
我ほど知り難いものは
ないのである

高光 大船

Human beings are unaware of their own self, and there is nothing more difficult to know than one's self.

Takamitsu Daisen

教 区 門 徒 会 のお知らせ

三条教区通信第 164 号(2021 年 5 月 1 日発行)においてお知らせしました教区門徒会議決事項に引き続き、教区門徒会員の皆様について、下記の通りご紹介します。

記

(以下、敬称略)

【教区門徒会員】

相澤　幸二	第 10 組	専徳寺
小嶋　勇司	第 10 組	光圓寺
江口　信義	第 11 組	長福寺
丸山　健吾	第 11 組	願興寺
田中　　保	第 12 組	勝覺寺
齋藤　邦男	第 12 組	専福寺
佐々木　智久	第 13 組	廣深寺
吉田　　衛	第 13 組	浄照寺
伊部　福夫	第 14 組	廣西寺
広瀬　菊枝	第 14 組	長樂寺
田伏　研二	第 15 組	淨覺寺
丸山　　誠	第 15 組	大專寺
安尻　豊昭	第 17 組	專福寺
徳永　正人	第 17 組	城願寺
佐藤　　寛	第 18 組	重蓮寺
星野　正栄	第 18 組	圓性寺
松尾　正行	第 19 組	長福寺
笠原　和文	第 19 組	福圓寺
西野　　登	第 20 組	淨願寺
五十嵐　保雄	第 20 組	樂運寺
澤　　辰雄	第 22 組	善龍寺
石黒　　稔	第 22 組	光濟寺
金巻　拾子	第 23 組	無爲信寺
伊藤　猛治	第 23 組	廣泰寺
関矢　　隆	第 24 組	專明寺
大塚　靖紀	第 24 組	極楽寺
奥田　富子	佐渡組	勝廣寺
渡邉　正弘	佐渡組	勝廣寺

三条教区災害対策委員会のお知らせ

三条教区災害支援実行委員会の活動にご協力ください

災害救援・復興カンパ金につきまして、引き続き勧募いたしております。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、宗派では困難な状況に直面している被災地や被災者の方へ 1 日も早く宗派救援金をお届けするため、災害の種類や発生の有無に関わらず、「災害救援金口座」を設けて対応しております。何卒ご協力ください。

真宗大谷派災害救援金口座
【郵便振替口座番号】00920-3-203053
【加入者名】真宗大谷派

研 修 会 の ご 案 内

声明基本講習会

案内/申込書 同封

◆期　間　2021 年 8 月 23 日(月)9:45～15:00(受付 9:20)
◆場　所　三条別院
◆講　師　声明講習会部門スタッフ
◆内　容　①得度班(御経・正信偈草四句目下・念仏和讃三淘)
　　②法務研鑽班(日常法務の内容)
　　③声明研鑽班(中央声明講習会の内容)
◆対　象　どなたでも
◆参加費　500 円
◆申込み　7 月 30 日(金)までに教務所へ
◆問合せ　三条教務所(担当:水野)

教学研究会「教行信証輪読学習会」

◆日　時　7月 5 日(月)16:00～17:00
　　8 月 3 日(火) 16:00～17:00
◆場　所　三条別院
◆内　容　「安田理深講述　正信偈講義」の輪読
◆対　象　どなたでも(申込不要)
◆参加費　無料

教学研究会「大河流覧輪読会」

◆日　時　7 月 26 日(月)16:00～17:00
　　8 月 26 日(木)16:00～17:00
◆場　所　三条別院
◆内　容　藤場俊基著『大河流覧』の輪読
◆対　象　どなたでも(申込不要)

◆参加費 無料

教区女性研修会報告 2021/5/25 開催

女性研修会部門スタッフ 鏑木智子（第 21 組 勝樂寺）

昨年度（2020 年 3 月 16 日）予定されていた教区女性研修会は、コロナ禍の為、中止となり、2 年間ぶりの研修会となりました。コロナ対策のため、事前準備を整えて、一昨年度に引き続き、講師に三明智彰師（写真上）をお迎えして開催しました。

最初に新田直美さん（第 17 組光照寺）より、ご本人とお母さんとの出遇いなおしの感話を頂き、それを受けて、テーマを「出遇いなおし―正信偈に聞く―」として講義を頂きました。私たちの様々な関係性のなかでの「出遇い」を、お聖教に照らし合わせ、とても分かりやすく身近に感じられるようにお話ししてくださいました。

午後からのまとめの講義では、班別座談で出された意見をふまえ、「人生は四苦八苦と仏教では説かれていること」、「今日一日、何もないことがむしろ問題であり、けれども、そんな一日が生きがい」、「何事もあたりまえはなく、有ること難し」、「日々の中で、練習でもよいから『有難う』と相互に伝えること」等、日々の出会いを豊かなものに変えていく、出遇いなおしなのだと教えて頂きました。

コロナ禍ではありましたが、今回は昼食を入れての一日の研修会。皆、楽しく参加されたようで、スタッフ一同嬉しく思っております。遠方よりお越し頂いた三明先生にも感謝申し上げます。引き続き出遇いの場を考えていきたいと思います。

春季声明講習会報告 2021/4/19 開催

声明講習会部門幹事 島津崇之（第 18 組 満行寺）

今年度の春季声明講習会は、昨年度講習会が新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止になった為、講師、講習内容ともに昨年度のものをスライドして、本山堂衆 泉康夫先生に七条袈裟等の付け方、扱い方を御教授していただく事とした。

京都で感染症拡大による蔓延防止等重点措置が出されている状況下で、先生においで頂けない場合には京都からリモート講義をしていただくよう並行して準備を進めた。リモート講義ではなく、対面による講義が開催された。

講習は、まず旧御堂にて、先生が持参していただいたVTR（七条袈裟の着け方）2 本を使って 10 時より昼食を挟んで 13 時半まで講義、その後本堂に於いて、16 時まで代表者（スタッフの關根大丘氏）にモデルとなってもらい別院の法服、七条袈裟を先生より注意点等をお話しいただきながら、着けて貰った。と同時に参加者各自でお持ちいただいた法衣（七条袈裟、五条袈裟等）を先生よりアドバイスをいただきながら着けて貰った。

旧御堂での講義は密を避けて行うことができたが、本堂での実際の着付けの講習は先生を取り巻く様に参加者が集まり、少し密になってしまった事がおおいに反省すべき点である。

しかし今回の様な装束の着け方等は、リモートでの講習ではなく対面による講習に適している内容であるとあらためて実感した。また、五感をフルに使っての講習会は、今も尚自粛を強いられている多くの参加者にとって楽しい時間であったに違いないと思った。

元気なお寺づくりアワード2020 第 10 組祐光寺様が受賞

・2019 年に三条教区でおこなわれた「元気なお寺づくり講座」の受講寺院である第 10 組祐光寺の取り組み「本堂(御本尊前)での葬儀の定着」が本山の選考会にて高く評価され、この度、「門徒と僧侶で創る 元気なお寺づくりアワード2020」を受賞され、6 月 9 日に祐光寺にて表彰式が行われました。

・表彰式は、祐光寺の取り組み、朝8時からの「おあさじ会」の後、引き続いておこなわれた。

「おあさじ会」はお勤めと住職のおはなし、その後に全員で本堂の掃除が行われる、月に一度の行事。おつとめ本「青本」で正信偈と和讃を繰り読みし、住職がその日の和讃についてお話をされる。お掃除も西山の初夏の日差しや風が心地よく、談笑しながら和やかな雰囲気で素敵な「いつもの祐光寺」の魅力を見せていただきました。

・表彰式は映像による内局参務の挨拶に続いて、表彰・目録贈呈、教務所長挨拶、そして「住職の言葉」として風巻和人住職は「講座はワークショップ形式ということで、他の寺の方とも意見を出しあったり、色々な発想や考え方を吸収でき収穫があった。星野さんと坊守と三人で最終的に四点の計画を作って『本堂(御本尊前)での葬儀の定着』『みんなでお勤めする報恩講』(おみがきや竹あかり等みんなでつくる報恩講)『おあさじ会』『涅槃会(だんごまき)』(村のお講・地域の仏事の見直し)の四点でした。お寺はみんなのものだし、そこに集まる事で大事な事に気づいていく場所だということを確かめていきたい。」「教区内でも寺院で葬儀の取り組みをしてるお寺があるんです、ですが現在は

横のつながりが無い。つながりが出来ると変わってくると思います。『葬儀はいのちのバトンタッチ』と言われた方がありますが、(葬儀のご縁に)何を大事な事として引き継ぐかという事をお寺は発信していきたい」とお話しくださいました。

・また「参加者の言葉」として、ご門徒の星野義久さんは「当たり前のことと思われるかもしれないが、講座を受講して、お寺は門徒が支えているんだと気づいた事がありました、祐光寺は昔から門徒が分担して本堂などを守ってきた事を考えれば、至極当たり前の事なのですが、私としては自分自身の気づきでした。」「本堂でのお葬式は昔の自宅で行う葬儀のように個人とのお別れがより深いものになるのだと思います。この度の受賞は我々の先輩が守ってくれた上に立っていることを考えると、この度の賞も我々だけでなく、共に寺を守った先輩方も喜んでおられることと思います」とお話しくださりました。

・閉式後は、参加したご門徒さんに副賞の「五環正宗」が配られ、賞金の 10 万円は「役員さんと相談し、みなさんに見える形で有効活用していきたい」とのことです。

教務所からのお知らせ

◎2021 年における得度式・得度式説明会について

開 催 日：8 月 4 日(水)／8 月 7 日(土)／9 月 7 日(火)
10 月 7 日(木)／11 月 9 日(火)

願書受付：①得度式開催日の 40 日前までに教務所へ提出
②8 月の得度式の受付は締め切りました。

そ の 他：①新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症対策のため、日程を一部変更・短縮して行っています。
詳細は、得度考査を申し込みいただく際にお伝えいたします。
②開催日前日に説明会がございます。

◎門徒用授与物調製の遅延について

感染症拡大の影響により遅れが続いています。現在、特に 70 代以上の親鸞聖人・蓮如上人のお脇掛の在庫が不足しています。調達するまでお待たせすることがあり大変申し訳ありませんが、何とぞ何卒ご理解とご協力くださいますようお願いいたします。

◎教区会等の傍聴について

教区会等の会議は、条例の定めにより傍聴することができます。詳細は教務所へお問い合わせください。

◎教区・別院行事予定

感染拡大の状況により、今後、中止・延期または開催形態が変更される場合があります。

2021 年		
7/2	(金) 14:00	保育協会監査
7/3	(土) 14:00	真宗学院
7/5	(月) 14:00 16:00	大谷大学同窓会役員会 教行信証輪読会
7/6	(火)	～7 日全国正副議長会（本山）
7/7	(水)	～8 日全国正副門徒会長会（本山）
7/8	(木) 14:00 14:00	教区監査 教化センター学習会
7/9	(金) 10:00 13:00 14:00	別院会計監査 結の会実行委員会 保育協会理事会・総会
7/12	(月) 13:00 14:00	真宗学院運営委員会 御依頼適正審議会
7/13	(火) 10:00	別院庭講・定例法話・有志の会
7/14	(水) 10:00 11:00 18:30	女性研修会部門会議 教区坊守会会計監査 別院書道教室
7/15	(木) 13:30 14:00	坊守会役員会 教化センター学習会
7/16	(金) 14:00	教区会決算委員会
7/17	(土) 14:00	真宗学院
7/19	(月) 14:00 16:00	教区会予算委員会 別院報恩講主査会・財務部会
7/20	(火) 14:00	教区会特別委員会
7/21	(水) 10:00 14:00	教区門徒会常任委員会 教区会参事会
7/24	(土) 14:00	真宗学院前期試験第 1 日目
7/26	(月) 16:00	大河流覧輪読会
7/27	(火) 13:30 15:00	宗祖御命日逮夜法要 別院責任役員会
7/28	(水) 10:00 18:30	宗祖御命日日中法要 別院書道教室
7/29	(木) 13:30	教区会通常会
7/30	(金) 10:00	教区門徒会通常会
7/31	(土) 13:00	真宗学院前期試験第 2 日目
8/3	(火) 14:00 16:00	別院院議会 教行信証輪読会
8/4	(水) 15:00	災害支援実行委員会
8/5	(木) 13:30 14:00	正副組長会 教化センター学習会

新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局　担当　富沢慶栄　超願寺内
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783
Tel 025-222-2820　Fax 025-222-2830　Email choganji@nifty.com